



## 大地申 第11号 「駅業務委託について」に関する基本交渉開催！その3

4. 朝通対において、ホーム上の安全を確保するために現行の体制を確保すること。

回答：現時点において、東大宮駅の通菌対策については現行通り実施していく考えである。

《交渉議事抜粋》

組：現行の通対の体制は？

会：管理者1名とテンポラリースタッフ2名だ。

組：この3名以外にも警備員も立っていると現場から声が上がっている。警備員の目的は何か？

会：車いすや目の不自由なお客さま対応の為にいる。

組：管理者1名だけで対応している日もある。階段も狭いし、混雑時は非常に危険だ。

会：テンポラリースタッフを毎日配置できないこともあるが、今後も同じ体制は維持していく。

組：警備員は案内対応と聞いた。今後も配置は長いスパンで見たい。

会：警備員の対応はJESSで行うのでいったん解除する。窓口が無くなったのでJESS社員でも対応できる。

組：警備員は誰かから指示を受けてやっているという認識。偽装請負にならないように明確になっているのか？

会：出来ない業務をやってくれとはならないよう、業務区分は明確にしている。案内業務も委託している。

組：蓮田駅は巡回も含め対応していると思うが、安全については本体の責任で行う事で良いか？

会：通対時は蓮田駅がしっかり責任を持つ。

5. 出向の目的と役割を明確にし、エルダー社員を最優先に配属し、必要以上の若年出向は行わないこと。また、目的が達成され次第出向期間を短縮し本体に戻すこと。

回答：出向についてはグループ会社の指導や人材の育成等を目的として行うものである。なお、社員の運用については就業規則に則り取り扱っていく。

《交渉議事抜粋》

組：何名が出向するのか？

会：言えないが、面談して適性や将来を見据えてやってもらう方はいる。東大宮駅は社会人採用がほとんど。その方が、プロパーに教育していく。その点を考えて体制取っていく。

組：出向者4名。JESS3名の体制か？

会：認識は変わらない。しっかりやっていく。

組：人材育成の期間はどのくらいと考えているのか？

会：出向原則は3年である。育成できれば、そこを迎えずに帰ってきてもらう。

組：労働協約に基づいて3年で戻すことは大前提。早めに戻してほしい。

会：経験が十分であればそうなる。

組：要員割れと聞いている。JESSの求人も相当大変だと思うが、委託施策とJESSの要員確保も見えていかないといけない。

会：JESSも苦勞していると聞いている。安全の担保を出来る方を見極めていく。

組：本体の要員需給も厳しい。目的が達成され次第、戻すべきだと考える。

会：ウインウインの関係でやっていく。

6. 施策に伴う異動に際しては丁寧な面談を行い、本人希望を尊重すること。

回答：現時点において、東大宮駅の通菌対策については現行通り実施していく考えである。

《交渉議事抜粋》

組：労働協約に基づいてやっていただきたい。

会：これまでと変わらない。

組：確認する。

**職場の声を軸に、安全・健康・ゆとり・働きがいのある施策を創っていこう！**